

施策評価シート(令和元年度)

(基本施策の大綱) 2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (3) 高齢者の地域生活支援の充実

(評価担当者)

健康福祉部長 古田 秀樹

基本施策が目指す姿

高齢者が、必要な介護・福祉サービスを受けながら、住み慣れた地域で安心して暮らしています。

関連する分野別計画

亀山市高齢者福祉計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	在宅医療を実施する市内医療機関数	機関	9	H27	10	10	9			15
2	総合事業で高齢者に通いの場を提供する地域の団体等の数	団体	-	H27	100	112	119			30
3	認知症初期集中支援チームの高齢者及びその家族への支援件数	件	1	H27	3	10	12			12
4										
5										

市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 高齢者が生きがいを持って安心して生活できる環境が整っている	重要度	1.36	1.25	前回調査に比べ、2項目ともに、満足度が上昇しているのは、地域包括支援センターでの専門職における相談体制を充実させ、H29から総合事業を開始したことから、高齢者に通いの場を提供する団体が増え、高齢者の通いの場の創出が進んだ結果であると考えられる。
	満足度	0.56	0.47	
2 高齢者への介護サービスが充実している	重要度	1.43	1.38	
	満足度	0.14	0.05	
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			
5	重要度			
	満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	<p>地域包括ケアシステムの醸成のため、地域包括支援センターに生活支援コーディネーターや専門の認知症初期支援集中チーム員を配置した。これにより個別ケースの地域ケア会議の開催や、地域のニーズ調査、地域資源の把握などが図れた。また、介護予防教室やサロンの利用者数が増加していることや、民生委員児童委員の活動に支えられ、高齢者の引きこもり防止や介護予防につなげることができた。さらに認知症初期支援集中チームの活動強化により、認知症の人とその家族を地域で支援する仕組みづくりにも取り組んだ。</p> <p>地域包括ケアシステムの根幹となる在宅医療では、在宅医療を担当する医療機関が減少傾向にある。医師会を通じて、さらに対策を講じる必要があるため、総合判定をBとした。</p>

反省点・課題

高齢者の地域での生きがいづくりを支援するため、シルバー人材センターにおいては、高齢者の介護予防にもつながるQOL支援事業の拡充や、老人クラブにおいては、連合会への加入率向上による会員の増強が必要である。
また、高齢者のフレイル予防や、引きこもり防止のためにも、新たな取組による地域での見守り施策が必要である。
在宅医療では、担当する医療機関数が減少しており、かめやまホームケアネット利用者数も伸び悩んでいる。医師会と協力して医療機関数を増加させる必要がある。

今後の展開方針

シルバー人材センターにおいては、QOL支援事業等新規の事業への取組支援や老人クラブへは高齢者の引きこもり防止対策等による、会員数、加入者数の増加が図れるよう支援を継続する。
また、生活支援コーディネーター、認知症初期支援集中チームなどとの連携を強化し、地域での高齢者の引きこもり防止や、介護予防の事業を継続する。
医師会と協力し、在宅医療利用者の増加に向け、医療機関等への働きかけを強化する。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		地域包括ケアの推進						
(個別判定) B まずまず進んでいる	活動 【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 医療と介護との「顔の見える関係」を構築するため、多職種連絡会議や情報共有ツールICTを活用した。医療・介護関係者の連携強化に努めた。地域包括支援センターでは、生活支援コーディネーターや認知症初期集中支援チームに専属のチーム員を配置した。	評価 【左記の活動により、施策は推進できているか】 相互の情報共有と研修のための機会づくりなど、医療や介護の連携強化が図られた。地域包括支援センターでは、個別ケースの地域ケア会議を開催するなど体制整備が進んだ。また、生活支援コーディネーターが連携することで、地域のニーズ調査や地域資源の把握に努めることができた。						
			関連事業 番号 17047 17048 17050	事務事業の名称 介護保険地域支援事業(総合事業) 介護保険地域支援事業(任意事業) 地域包括支援事業(社会保障充実分)	区分 主 主 主	予算額/決算額 [千円] 28,662 / 23,399 25,719 / 21,226 24,747 / 21,753	活動 A B B	成果 A B B
事業以外の取組	内容					活動	成果	

施策の方向		介護予防の推進						
(個別判定) A 順調に進んでいる	活動 【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 高齢者が介護を受けずに暮らしを営めるよう、介護予防啓発事業として介護予防教室・サロン・体操教室・認知症予防教室などの介護予防・生活支援サービスを行った。介護予防教室では、延べ311回、9,455人が参加し、出張介護予防教室では延べ95回、2,033人が参加した。	評価 【左記の活動により、施策は推進できているか】 一般介護予防事業における介護予防教室やサロンの利用者数や活動団体数は年々増加しており、地域での介護予防活動が定着している。これまで養成に関わった健康づくり応援隊やしゅきしゃき体操などを継続して支援することで、地域における介護予防の取組を推進できた。						
			関連事業 番号 17047	事務事業の名称 介護保険地域支援事業(総合事業)	区分 主	予算額/決算額 [千円] 28,662 / 23,399 /	活動 A	成果 A
事業以外の取組	内容					活動	成果	

施策の方向		高齢者の生活と生きがいづくりの支援						
(個別判定) B まずまず進んでいる	活動 【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護用品の支給、配食サービスや緊急通報システム、電話健康相談などの生活支援やタクシー料金助成事業の外出支援を行った。また、高齢者の生きがいづくりの場として、シルバー人材センターや老人クラブの活動を支援した。	評価 【左記の活動により、施策は推進できているか】 必要な人に必要な支援を行うことで、高齢者が地域で自立した生活ができるよう推進した。また、シルバー人材センターや老人クラブへの補助金交付を継続して行うことで、高齢者の就労の場づくりや介護予防につながった。						
			関連事業 番号 17048 17051 3009-2 3025 3026 3027 4014-2	事務事業の名称 介護保険地域支援事業(任意事業) 高齢者タクシー料金助成事業 地域団体支援事業(シルバー人材センター) 団体支援事業(在宅高齢者介護支援事業) 福祉事業(在宅高齢者介護支援事業) 給付事業(在宅高齢者介護支援事業) 害虫駆除対策費	区分 主 主 標 標 標 標	予算額/決算額 [千円] 25,719 / 21,226 20,300 / 15,503 11,400 / 11,076 2,859 / 2,831 1,929 / 1,813 1,201 / 1,027 190 / 148	活動 B A A A A A	成果 B A A B B B
事業以外の取組	内容					活動	成果	

施策の方向 認知症高齢者等対策の推進							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座を通じた普及啓発のほか、アルツハイマー月間を利用した市民公開講座の開催や認知症あんしんブックの作成、認知症カフェの増設などを行った。また、認知症初期集中支援チームが共通認識のもと認知症の早期発見・早期対応に向けた支援ができるよう、活動の手引きを作成した。		評価	各種啓発活動や亀山医師会等の多職種により構成されている認知症初期集中支援チームによる支援により、認知症に関する市民の理解促進や相談体制の充実に努めることができた。さらに、認知症の人とその家族を地域で支援する支援者づくりにも取り組み、様々な角度から認知症施策を推進した。		
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17050	地域包括支援事業(社会保障充実分)		主	24,747 / 21,753	B	B
					/		
事業以外の取組	内容					活動	成果